

来週の「売り物」記事はこれ



2012年7月13日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

大型ルポシリーズ「S (ストーリー)」

詩人がつづる「母を恋ふる記」

認知症 介護の記録 朝刊 15日(日)



詩人で児童文学作家の藤川幸之助さんは、20年ほど前に母親が認知症と診断されました。最初のころは「介護をテーマに詩でも書けたら……」と考えていたそうですが、現実にはあまりに厳しいものでした。葛藤、悲しさ…多くのことを学んだと話します。そして、「母を支えていた」と思っていた「介護」のありようは、いつの間



にか「私が母に支えられていた」と感じるようになったといいます。母はいま、命の炎を燃やし尽くそうとしています。それを目の当たりにして、詩人が紡ぐ言葉とは――。

孤立死など「現代と死」の問題を見据え続けるベテラン記者が筆をとります。

日曜朝は『S』で始まる――。ご期待ください。

「リスクと向き合う」第4部 (16日～21日)



原発事故や甚大な被害が予想される南海トラフ巨大地震、少子高齢化など、私たちは大きなリスクに直面しながら日々の生活を送っています。物理学者・寺田寅彦＝写真＝は「文明が進むほど天災による損害の程度も累進する傾向がある」と指摘しました。一方で、リスクは新たな可能性を開くカギでもあります。「地産地消」による再生可能エネルギー普及への取り組み、災害に備えるための自治体・医療ネットワークづくりなどを通し、リスクにどう備え、どう転換させていくかを考えます。

連載「インサイド」 ―「ボーダーレス五輪」の潮流を追う―

国籍、性差、身体障害の壁を超える選手たち

運動面 17日から

ロンドン五輪の開幕(27日開会式)がいよいよ近づいてきました。今回は、国籍、女子選手への制約、身体障害など、かつて常識とされた「境界」を超える現象も目立つ大会です。国籍を取得したカンボジアからマラソンに出場しようとしたタレント、猫ひろしさんを巡る議論や、宗教的制約を受けながらも五輪参加を目指すイスラム圏の女子選手、義足のスプリンターとして有名な陸上男子400メートルのオスカー・ピストリウス選手(南アフリカ)らの姿を紹介します。17日から5回を予定。





カイロ支局の前田英司記者がリビア入り。中東の民主化騒乱「アラブの春」で昨年10月に独裁者カダフィ大佐が排除された北アフリカ最大の産油国の今を報告します。リビアは7月7日に本格的な議会選挙が約60年ぶりに行われ、民主的な国作りに向け大きな一歩を踏み出しました。一方で、部族対立や武器の蔓延による治安上の懸念など問題は山積。喜びと不安の狭間で日々を生きる人々の姿を活写します。17日付朝刊でスタート予定です。

懐かしの昭和の歌クイズ

くらしナビA面 17日(火)

♪○○追いし、かの○○～。童謡「故郷(ふるさと)」を歌えますか?懐かしい歌詞の一部を空欄にし、穴埋めして楽しむクイズを、福岡県の元教諭が考案しました。脳への刺激にもなり、介護施設ではお年寄りたちが記憶をたどりながら、声をそろえて歌っています。63曲分のクイズを集めた本も出版されました。



夏のエスニック料理

くらしナビB面 17日(火)



蒸し暑い日が続くと、食欲も落ちてしまいがち。スパイスを利かせたエスニック料理がおすすめです。タイ料理に使われるナンプラーに、チリソース、ゴマ油で合わせれば、炒め物の調味料に。カレー粉とヨーグルトを合わせてエビや鶏肉を漬け込み、グリルで焼いても手軽でおいしいですよ。

着こなしレッスン

くらしナビB面 19日(木)

スタイリストの田内玲子さんが、大人の装いを提案する人気コーナー。今回のテーマは、ロンドン五輪にちなんで「スポーティー」。乗馬をイメージしたパーカー、パンツ、ブーツの組み合わせや、アウトポケットのシャツ、スニーカーなどを生かしたスタイルを紹介。機能的ながら、エレガンスに映る工夫を指南します。



大切な想い 大切な人に 届いてますか——

6年ぶりの映画「あなたへ」に出演の高倉健さん語る

夕刊特集ワイド面 18日(水)、19日(木)



高倉健さん(81)主演の映画「あなたへ」(降旗康男監督)が8月25日から公開される。妻の遺骨を故郷の海に散骨するため北陸から九州まで旅する刑務所の指導技官を演じる。近藤勝重・専門編集委員が、東日本大震災後に撮影が始まったこの映画に込めた思いなどを聞く。